

令和5年度
北区飛鳥山博物館事業計画

2023.03

1 令和5年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

令和5年は開館25周年の年にあたる。そこで、25にちなんだスポット展示、博物館の歩みをふりかえるミニ展示、北区の歴史を振り返るリレー講座を計画した。また、令和5年は飛鳥山公園開園150年と関東大震災100年にあたるので、これらに関連した講座を計画した。

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	3回
特別展覧会	1回
夏休みわくわく展示	1回
学校対応展示	1回
スポット展示	1回
ミニ展示	1回
常展活用展示	1回
計	9回

(令和4年度 9回)

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
計	1回

(令和4年度 1回)

(3) 講座・催し物

一般向け講座	35講座	50回
展示関連講座	8講座	8回
わくわく講座	17講座	30回
	60講座	88回

(令和4年度 71講座 91回)

令和5年度の事業 ※名称は仮称、実施日・回数は予定。

1. 展示

★ 企画展 3回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	アイラブ 令和4年度 春期企画展「I♥スーパー ー …スーパーマーケットのチラシ にみる昭和」	3月21日(火・祝)～5 月14日(日)	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>昭和 20 年代後半、セルフサービス形式のスーパーマーケットが日本に導入されると、王子でも昭和 37 年に開店した総合食品店「ほりぶん」が数年のうちにスーパーへと転換し、地域住民の生活を支えてきた。</p> <p>本展では、日本人のライフスタイルが大きく変化した昭和の高度成長期に焦点をあて、当館に寄贈されたスーパー「ほりぶん」のチラシを通して、時代の移り変わりに対応してきたスーパーの奮闘ぶりや人々の暮らしの変遷をたどる。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>寄贈資料の活用。町や暮らしの変化への関心を惹起する。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	秋期企画展「縄文人の資源利用」	10月21日(土)～ 12月10日(日)	特別展示室 ホワイエ	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>縄文時代に、東京湾西岸域は沿岸部の漁業集団と内陸部の狩猟・採集集団が地域的な分業体制を敷き、それぞれの居住地特有の物資を交換することにより、海陸の多様な資源環境を利用する広域的システムを構築していた可能性が指摘されている。</p> <p>本展示では、北区中里貝塚・栄町貝塚を中心に、縄文人の資源活用の実態や、漆・貝殻・石器石材・塩などの物資交換ネットワークについて紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>中里貝塚の周知。栄町貝塚の調査速報。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

3	春期企画展「日本文化とファッションプレート」(仮)	3月16日(土)～ 5月14日(日)	特別展示室 ホワイエ	佐々木
<p>〈概 略〉 エッチング版画『J.D.M』プレートが、大正から昭和期の日本文化(殊に婦人雑誌や挿絵画家)に与えた影響を読み解く。また、プレートに使われた「紙」や「工芸官」との関わりのなかで、北区とファッションプレートの関わりを紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 資料を活用しながら、地域への関心を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第22回 人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」	9月9日(土)～ 10月9日(月・祝)	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉 北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉 美術工芸分野に関心がある層の新規来館を促す。利用者拡充。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 夏休みわくわく展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2023「みんなの学校」	7月21日(金)～ 8月27日(日)	特別展示室	工藤
<p>〈概 略〉 学制の公布後、明治6(1873)年の荒川小学校開校から150年となる今年。北区の学校と子どもたちの暮らしに関する資料を展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉 自由研究への素材提供。</p>			<p>〈対 象〉 小・中学生</p>	
<p>〈備 考〉 そのほか館内を用いたイベントを開催予定。</p>				

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔のくらし展	12月23日(土)～ 2月29日(木)	特別展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の大正の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、くらしの変化を紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学生および一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ スポット展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	ASUKAYAMAセレクトション 25	5月27日(土)～ 6月25日(日)	特別展示室	谷口
<p>〈概 略〉 収蔵資料の中から学芸員がおすすめする収蔵資料をそのみどころも含めて紹介する。今回は開館25周年を記念して、学芸員全員で25点の資料を展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉 館蔵品の活用。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ ミニ展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	パネル展示「おかげさまで25周年 博物館の歩んできた道、歩む道」	5月27日(土)～ 12月27日(水)	ホワイエ 閲覧コーナー	安武
<p>〈概 略〉 当館のこれまでの歩みを振り返るとともに、これから目指す博物館像について紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 開館25周年の周知。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 常展活用展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	3月16日(土)～ 6月18日(日)	常設展示室	久保埜
〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2023	7月21日(木)～ 8月28日(日)	特別展示室 体験学習室 館内	工藤
〈概 略〉 博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。特別展示室では「みんなの学校」を実施(概要は夏休みわくわく展示参照)。また、体験学習室を中心に各種講座を開催するほか(詳細は夏休みわくわく講座参照)、館内全体を舞台にした催し物を行う。				
〈ねらい〉 夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。			〈対 象〉 小中学生とその家族	
〈備 考〉				

3. 講座・講演会

★ 一般向け講座 35講座 50回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	北区文化財めぐり—西ヶ原編—	4月21日(金)	野外	25名	田中
〈概 略〉 区内に所在する指定文化財を中心にめぐり、現地で解説を行う。西ヶ原一里塚(国史跡)、七社神社、御殿前遺跡(区史跡)、平塚神社、城官寺(区指定・都指定)、旧古河庭園(国名勝)を予定。					
〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。			〈対 象〉 一般		

<p>〈備考〉 昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。継続講座。</p>					
2	北区ジュニア考古学クラブ2023	4月23日・5月21日・ 7月30日・8月27日・ 1月28日各(日)・2 月10日(土)	体験学習室 野外	15名	安武 鈴木
<p>〈概略〉 博物館や野外の遺跡を会場とした、小中学生向けクラブ活動。1年を通して、考古学に関する活動を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡充。歴史好き小中学生への活動の場の提供。</p>			<p>〈対象〉 小学3年生～中学生</p>		
<p>〈備考〉 子どものみ(要送迎)。野外見学の際、小学生は保護者同伴。継続講座。</p>					
3	大人の浮世絵鑑賞講座	4月30日(日)	講堂	30名	工藤
<p>〈概略〉 収蔵資料の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。</p>					
<p>〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
4	北区遺跡学講座 2023「志茂遺跡・熊野神社遺跡」	5月13日(土)	講堂 野外	25名	牛山
<p>〈概略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。今回は志茂遺跡と熊野神社遺跡を訪れる。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
5	北区民俗学講座「北区の旧村地域を歩く―袋村編―」	5月14日(日)	野外	25名	工藤
<p>〈概略〉 対象地域を風習や民俗が最も色濃かった江戸時代の旧村地域とし、参加者とともに現地を歩くことで、現代に残る民俗や、その民俗がどのように変化してきたかを参加者に紹介する。今回は対象を旧袋村地域とし、実際に参加者とともに現地調査をおこなう。</p>					

〈ねらい〉 自身が暮らす地域に対し、新たな視点を獲得することで地域への愛着を深める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
6	北区再発見！学芸員リレー講座 〈前期〉	5月20日・6月17日・ 7月15日・8月26日・ 9月23日 各（土）	講堂	60名	鈴木 牛山 安武 高坂 谷口
〈概 略〉 当館は開館 25 年を迎えたが、その間新たな資料が発見されたり、様々な知見がわかってきた。そこで北区の歴史を新たな視点を織り交ぜて、学芸員全員がリレー方式で北区の歴史を振り返る。					
〈ねらい〉 北区の歴史に興味を持ってもらう。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。					
7	北区文化財めぐり—王子編—	5月23日（火）	野外	25名	山口
〈概 略〉 区内に所在する指定文化財を中心にめぐり、現地で解説を行う。飛鳥山碑、旧渋沢家飛鳥山邸、旧醸造試験所第一工場、王子神社、滝野川学園跡等を予定。					
〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。継続講座。					
8	開催直前！十条富士塚「お富士さん」	6月24日（土）	講堂 野外	25名	田中
〈概 略〉 午前に講堂にて区内の富士講資料を紹介しながら富士講について講義し、午後に十条富士塚と近郊の富士塚をまわる。					
〈ねらい〉 区内の富士信仰について知る。指定文化財の十条富士塚などを現地で見ることによって、富士塚の構造を理解し、関心を高める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
9	「赤羽を愛する人」へ！ 『あかばね散歩』とその時代	6月25日（日）	講堂	60名	佐々木

<p>〈概 略〉</p> <p>昭和 40 年代～平成初期まで発行されていた地域誌『あかばね漫歩』から戦後～現代にかけての赤羽地域のまちの様子を探る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>赤羽地区の現代史を知り、考える。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
10	第39回新聞から読む考古学－ 2023年上半期を振り返る－	7月16日（日）	講堂	60名	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2023年上半期の記事を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座</p>					
11	開催直前！ 王子田楽	7月29日（土）	講堂	60名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>3名の学芸員が担当する無形民俗文化財入門講座の内の王子田楽についての講座。初心者向けに基本情報を伝える講座とする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>年間を通じて、無形民俗文化財の紹介を図る講座を行事開催直前に行うことで、区民に区内に残る様々な民俗行事を紹介・周知を図る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
12	関東大震災記録を読む	9月2日（土）	講堂	60名	佐々木 田中
<p>〈概 略〉</p> <p>本年は関東大震災から100年目にあたることから、【前編】北区での大震災時の状況、被害・救助の様子、および【後編】大震災後に宅地化していく地域の様子について講義する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>関東大震災から100年の節目の年に改めて災害や震災について捉える機会とする。関東大震災を、地域史の視点でとらえなおす。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
13	考古楽講座〈初級編〉「考古学を始めよう」	9月10日（日）	講堂	60名	鈴木

<p>〈概 略〉 考古学のことをあまり知らない人に、その歴史や方法論などを知ってもらう講座。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への関心を高める。新規来館者の獲得。</p>				<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
14	公園指定 150 年記念 飛鳥山公園の歴史	10月15日(日)	講堂 野外	25名	田中 佐々木
<p>〈概 略〉 今年は飛鳥山公園が近代公園として成立してから 150 年を迎えることから、近代公園としての飛鳥山公園を紹介し、都市の中での公園の位置づけを紹介する。また、近代以前の飛鳥山の歴史にも触れ、公園を散策する。</p>					
<p>〈ねらい〉 近代公園史を学ぶ。飛鳥山公園について知り、魅力を伝える。</p>				<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
15	中世の紀行文をたどるーとはすがたりー	10月21日(土)	講堂 野外	25名	谷口
<p>〈概 略〉 中世に残っている様々な紀行文のうち、今回は『とはすがたり』に描かれた道・地域を歩く。</p>					
<p>〈ねらい〉 中世の地域の様子を描いた紀行文の記述をたどることで、中世の様相についての理解を深める</p>				<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
16	北区再発見！学芸員リレー講座 〈後期〉	10月28日・11月25日・12月23日・1月20日・2月17日 各(土)	講堂	60名	久保埜 佐々木 工藤 田中 山口
<p>〈概 略〉 当館は開館 25 年を迎えたが、その間新たな資料が発見されたり、様々な知見がわかってきた。そこで北区の歴史を新たな視点を織り交ぜて、学芸員全員がリレー方式で北区の歴史を振り返る。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区の歴史に興味を持ってもらう。</p>				<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
17	古民家解説会	10月29日(土) AM・PM 計2回	北区ふるさと農家体験	各30名	山口

			館		
<p>〈概 略〉 旧松澤家住宅の解説を行う。屋根裏にも見学者を上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉 古民家に対する理解を促進し、ふるさと農家体験館の周知を図る。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 東京文化財ウィーク参加事業。継続講座。</p>					
18	北区文化財めぐり―滝野川編一	11月3日（金・祝）	野外	25名	田中
<p>〈概 略〉 区内に所在する指定文化財を中心にめぐり、現地で解説を行う。近藤勇と新選組隊士供養塔（区指定文化財）、平尾一里塚跡、滝野川八幡神社、中山道三軒家、稻荷湯（国登録有形文化財）、亀の子たわし、千川上水分配碑を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。継続講座。</p>					
19	北区遺跡学講座 2023「未定」	11月5日（日）	講堂 野外	25名	高坂
<p>〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。見学地は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 新規来館者の獲得。区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
20	ちびっこ体験講座「あすかやまのどんぐりでおもちをつくらう！」	11月11日（土） ※荒天時は翌日に順延	体験学習室	20名	安武
<p>〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内を散策して拾ったどんぐりを使って、でんでんたいこやマラカスを作るもの。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡充</p>			<p>〈対 象〉 3～5歳児と保護者</p>		
<p>〈備 考〉 対象年齢未満の兄弟同伴可。継続講座。</p>					

21	文化財公開講座 稲付の餅搗唄の実演と体験	11月19日(日)	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
<p>〈概 略〉 稲付の餅練唄・餅搗唄保存会と西が丘小学校の生徒による餅搗唄の実演と踊りの披露。来館者による餅つきの体験を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区指定有形民俗文化財である稲付の餅搗唄を区民に広く周知し、餅搗唄の保存継承を図る。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 東京文化財ウィーク参加事業。継続講座。</p>					
22	歩く勉強会 千川上水を歩く	11月26日(日)	体験学習室 野外	25名	久保埜
<p>〈概 略〉 千川上水の一部をたどりながら、同上水の役割や周辺地域の変遷について学ぶ。</p>					
<p>〈ねらい〉 現地を訪ねることで地域への関心と理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
23	考古資料を見て学ぶ	12月16日(土)	講堂	24名	牛山
<p>〈概 略〉 区内で実施された発掘調査での出土資料を直に見て、触れて、資料の見かた等を学ぶ。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内で実施された発掘調査成果の普及、活用。区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
24	文化財講演会「未定」	11月17日(日)	講堂	60名	山口
<p>〈概 略〉 外部講師を招いて北区の歴史に関連する話をしていただく。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区の歴史について深く掘り下げ、多くの方に知っていただく。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
25	団地と古民家	1月13日(土)	北区ふるさと農家体験館・集合住	25名	山口

			宅歴史館		
<p>〈概 略〉 9月にオープンする集合住宅歴史館とスターハウスの見学を旧松澤家住宅の見学と併せて行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 伝統的な古民家の住まいと高度成長期の2DKの住まいの違いを感じてもらおう。また、新しくできたURの展示施設との事業コラボの試みとして実施する。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
26	北区史入門編「外国人を魅了した王子・飛鳥山」	1月14日(日)	講堂	60名	谷口
<p>〈概 略〉 王子・飛鳥山を訪問した外国人について概略的に紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 対外関係史を見ることで、遊行の地であった王子・飛鳥山についての江戸時代の位置づけの理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
27	第40回新聞から読む考古学—2023年下半年を振り返る—	1月27日(土)	講堂	60名	鈴木
<p>〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは!と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2023年下半年の記事を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
28	開催直前!「稲付の餅搗き唄」	2月3日(土)	講堂	60名	田中
<p>〈概 略〉 2月12日(月)の初午祭りでの「稲付の餅搗き唄」披露の前に、区指定無形民俗文化財である「稲付の餅搗き唄」について、その内容や歴史について解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 区指定無形民俗文化財について理解し、関心を高める。開催前に講座を実施することで、実際の無形民俗文化財への関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					

29	開催直前！白酒祭	2月4日（日）	講堂	60名	工藤
<p>〈概 略〉 2月7日の白酒祭の前に、その内容や歴史について解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定無形民俗文化財について、理解し、関心を高める。改めて詳しく紹介し、見直す機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
30	DM 限定講座「ボタニカル北区—植物でみる北区史—」	2月24日（土）	講堂	60名	谷口
<p>〈概 略〉 「植物学」の視点から北区を見つめる講座。今回は近世の本草図譜を用いて近世の北区を植物学の視点から解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 「植物学」という普段見ない切り口から概説することで、北区史の新たな理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 DM会員</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
31	考古楽講座〈中級編〉考古学を学ぶ—住まいの考古学—	2月25日（日）	講堂	60名	鈴木
<p>〈概 略〉 衣食住の中から原始古代の住まいについて解説をする。</p>					
<p>〈ねらい〉 遺跡や遺物への理解や関心を高める。新規来館者の獲得。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
32	守貞が見た江戸の暮らし～民俗・考古コラボ編～	3月2日（土）	講堂	60名	工藤 高坂
<p>〈概 略〉 民俗学担当と考古学担当のコラボレーション講座。『守貞漫稿』の「巻之三 家宅」における記載と、都内の遺跡から発見されている江戸時代の生活に関わる遺構・遺物から、江戸時代の暮らしについて解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古資料と文献資料等を用いて分野横断的に江戸時代の暮らしについて解説することにより、参加者に新たな発見を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					

33	考古楽講座 遺跡に行こう！春	3月9日（土）・10日（日）全2回	講堂 野外	25名	鈴木
〈概 略〉 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。					
〈ねらい〉 考古学への関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
34	ドイツ人から見た王子、江戸文化 2-オイレンブルク遠征隊をたどる-	3月23日（土）	講堂	25名	谷口
〈概 略〉 鎖国体制崩壊後、日本を訪れたオイレンブルク遠征隊について書かれた文献を読み、その後実際に遠征隊の行路を歩き、彼らの視点から見た北区を紹介する。					
〈ねらい〉 普段からよく知る北区の場所をあえてドイツ人（外国人）という視点を付与することで、新しい見識を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
35	考古楽講座〈中級編〉「考古学を学ぶ-衣の話-」	3月24日（日）	講堂	60名	安武
〈概 略〉 古代の「衣」について、縄文時代を中心に詳しく解説する。					
〈ねらい〉 区内遺跡への興味喚起。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					

★展示関連講座 8講座 8回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	春期企画展関連事業「展示解説会」	4月29日（土）	特別展示室 ホワイエ	15名	久保埜
〈概 略〉 企画展の内容を解説する。					
〈ねらい〉 展示内容の理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					

2	特別展覧会付帯事業「陶芸を楽しむ学ぶ講座」	9月16日(土)	体験学習室	16名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
3	特別展覧会付帯事業「金工を楽しむ学ぶ講座」	9月30日(土)	体験学習室	11名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
4	特別展覧会付帯事業「作家が語る！作品解説」	10月9日(月・祝)	ホワイエ	20名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、出展作品の技法や特徴などについて各作家に解説していただく。感染防止対策のため、会場に定員を設定して行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
5	秋期企画展関連事業「企画展示解説会」	11月18日(土)	特別展示室	20名	安武
<p>〈概 略〉 秋期企画展に内容を展示担当者が解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 新規来館者層の獲得。区内遺跡への興味関心の喚起。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
6	秋期企画展関連事業 北区遺跡学講座 special「中里貝塚と栄町貝塚」	12月3日(日)	講堂 野外	25名	安武

<概 略> 北区内の遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。今回は、企画展に関連して中里貝塚と栄町貝塚を訪れる。					
<ねらい> 区内遺跡への興味関心を喚起する。			<対 象> 一般		
<備 考> 継続講座。					
7	秋期企画展特別講演会	12月10日(日)	講堂	60名	安武
<概 略> 秋期企画展に関連して外部講師を招き、貝塚について講演していただく。					
<ねらい> 区内遺跡への興味関心の喚起。			<対 象> 一般		
<備 考> 講師：植月 学氏（帝京大学文化財研究所 准教授）。新規講座。					
8	春期企画展関連事業「企画展展示解説」	3月30日(土)	特別展示室 ホワイエ	20名	佐々木
<概 略> 企画展の内容を解説する。					
<ねらい> 企画展の内容について理解と関心を深める。			<対 象> 一般		
<備 考> 新規講座。					

★ 夏休みわくわく講座 16 講座 29 回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	夏休み土器づくり教室	7月21日(金)・29日(土)・8月9日(水)・18日(金) 計4回	体験学習室	各回 12組 24名	鈴木 安武
<概 略> 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。					
<ねらい> 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。			<対 象> 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
(備 考) 親子で1つの土器を作る。継続講座。					

2	キツネのからくり紙人形を作ろう	7月22日(土)	体験学習室	12組 24名	久保埜
<p>〈概 略〉 江戸時代の王子土産・狐の紙人形を模した人形を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 地域の歴史・文化に親しむ。</p>			<p>〈対 象〉 小学生3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
3	和綴じメモ帳を作ってみよう	7月23日(日)	体験学習室	12組 24名	佐々木
<p>〈概 略〉 和本の形態の一つである四ツ目綴じにチャレンジし、でメモ帳を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の本の作り方を知る。 博物館に親しむ。</p>			<p>〈対 象〉 小学5年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
4	夏休み勾玉づくり教室	7月26日(水)・8月12日(土)・16日(水)・23日(水)計4回	体験学習室	各回 12組 24名	鈴木 安武
<p>〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 保護者も製作可。継続講座。</p>					
5	牛乳パックで行燈づくり	7月27日(木)	講堂	16組 32名	山口
<p>〈概 略〉 牛乳パックを利用した行燈を製作し、暗くした古民家の中で点灯することで、昔のあかりの明るさ(暗さ)を体験してもらう。ろうそくやひょうそくの明かりの明るさ(暗さ)やLEDの明かりを比べてもらう。</p>					
<p>〈ねらい〉 照明が点灯している現代の夜の明るさとの違いを知ってもらう。牛乳パックを利用した行燈づくりを古民家で行うことで、古民家の周知を図る。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		

<p><備 考> 継続講座。</p>					
6	江戸の縁起物【絵馬】を作ろう！	7月28日(金)・8月19日(土) 計2回	体験学習室	各回 12組 24名	工藤
<p><概 略> 江戸時代の信仰に関する道具である絵馬について理解を深める。1組で2つの絵馬を制作し、1つは王子神社の絵馬の絵柄を描き、もう1つはそれぞれの思いや願いを込めたオリジナルデザインの絵馬を制作する。</p>					
<p><ねらい> 江戸時代の信仰文化を理解する。</p>			<p><対 象> 小学生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
7	作って学ぼう！江戸時代のミニキッチン	7月30日(日)	体験学習室	10名	谷口
<p><概 略> 館所蔵のおもちゃ絵「おかまへっついおはちおぜんこしらい」に描かれた昔の調理道具を絵に描かれた指示の通りに作る。なお、あわせて描かれた道具の実物資料を当館収蔵品で観察し、その使い方を学びながら作る。</p>					
<p><ねらい> 江戸時代の台所事情についての学びを深めながら、当時のおもちゃ絵を体感することで、江戸時代の文化について理解を深める</p>			<p><対 象> 小学校5・6年生～中学生</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
8	チャレンジ！昔の手仕事～藍染	8月2日(水)・3日(木)・4日(金)・5日(土)6日(日) 計5回	体験学習室	各回 16名	久保埜
<p><概 略> 親子を対象に、藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。</p>					
<p><ねらい> 低年齢層の利用を促す。</p>			<p><対 象> 小学生2名までと保護者1名の2～3名1組</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
9	はくぶつかん探検隊	8月10日・24日 各(木) 計2回	体験学習室 館内	各回 7名	谷口

<p>〈概 略〉</p> <p>普段は入れない博物館のバックヤードを担当学芸員の案内で探検する。最後に学芸員の仕事でもある資料調査を、資料をスケッチすることで実際に体験する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館に愛着を持ってもらう。博物館への理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学3～6年生</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
10	和のデザインで団扇作り	8月11日(金)・25日(金) AM・PM 計4回	体験学習室	各回 12組 24名	田中
<p>〈概 略〉</p> <p>団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>昔の人は道具(団扇)を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇をすることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>①③小学 3・4年生と保護者の2,3名1組 ②小学 1・2年生と保護者の2名1組 ④子供のみでの参加。送迎は保護者。小学3年生以上</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
11	しゃぼんであそぼう!	8月13日(日)	体験学習室	20名	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>いろいろな道具を使って、しゃぼん玉遊びをした後に、バブルアートの方法(水彩絵の具を混ぜたシャボン玉で絵を描く)でポストカードを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>利用者層の拡大。親子時間の提供。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>3～5歳児と保護者</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>対象年齢未満の兄弟同伴可。新規講座。</p>					
12	江戸時代の玩具「泥めんこ」をつくってあそぼう!	8月17日(木)	体験学習室	10名	高坂
<p>〈概 略〉</p> <p>区内遺跡から出土している「泥めんこ」をもとに作製した鋳型を用いて泥めんこをつくり、江戸時代の遊び方を参考にして実際に遊んでみる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>区内出土の考古資料を用いて実際に江戸時代当時の方法で遊ぶことにより、江戸時代の遊びを体験しながら学ぶ。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小中学生</p>		

<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
13	夏休み土器づくり教室〈1人でチャレンジコース〉	8月18日(金)	体験学習室	24名	安武
<p>〈概略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦勞や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対象〉 小学5年生～中学生</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
14	くずし字を読んでみよう(初級編)	8月20日(日)	体験学習室	10名	佐々木
<p>〈概略〉 浮世絵や古文書から簡単な単語の崩し字を読んで見る。</p>					
<p>〈ねらい〉 歴史資料や博物館に親しむ。</p>			<p>〈対象〉 小中学生</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
15	和のデザインで団扇作り〈1人でチャレンジコース〉	8月25日(金)AM・PM計2回	体験学習室	各回24名	田中
<p>〈概略〉 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、骨に紙を貼って団扇をつくり、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の人は道具(団扇)を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇を作ることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>			<p>〈対象〉 小学3年生以上</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
16	夏休み勾玉づくり教室〈1人でチャレンジコース〉	8月26日(土)	体験学習室	24名	鈴木
<p>〈概略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦勞や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対象〉 小学5年生～中学生</p>		

〈備考〉 継続講座。					
17	江戸時代のずぼんぼをとばそう!	8月27日(日)	体験学習室	10名	谷口
〈概略〉 江戸時代の子供たちが作って遊んでいたおもちゃ、ずぼんぼを作る。今年の干支にちなんでトラのずぼんぼをつくる。					
〈ねらい〉 江戸時代の紙おもちゃを作ることで、小学校低学年の児童でも手軽に江戸文化に触れる。			〈対象〉 小学生		
〈備考〉 継続講座。					

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って! 昔の暮らし	1月10日(水)～ 2月29日(金)	特別展示室 講堂・館外	鈴木
〈概略〉 館所蔵の大正初期から昭和の中ごろの生活用具を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、くらしの変化を紹介する。また、昔の道具(既製品)を使う体験事業(かまど体験・せんたく体験などを予定)とセットで行う。				
〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。			〈対象〉 区内小学校中学年	
〈備考〉 体験事業は新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
2	体験授業(考古学)	通年(依頼に応じて実施)	体験学習室	鈴木 安武
〈概略〉 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。				
〈ねらい〉 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。			〈対象〉 区内小学校6年生	
〈備考〉 新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
3	出張授業	通年(依頼に応じて実施)	依頼先学校	学芸員
〈概略〉 北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。				

〈ねらい〉 北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。		〈対 象〉 区内の小学校・中学校・高等学校		
〈備 考〉 内容によって担当学芸員を決定。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	安武 佐々木
〈概 略〉 博物館の業務に関して話をしたり、体験してもらう。				
〈ねらい〉 博物館の業務の理解を深めてもらう。		〈対 象〉 区内の中学校・高等学校		
〈備 考〉 担当は窓口。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	8月1日（火）～8月13日（日）	館内	鈴木
〈概 略〉 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
〈ねらい〉 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。		〈対 象〉 大学等で学芸員養成課程を受講している人		
〈備 考〉 令和5年3月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。担当は窓口。				
2	見学実習	通年（依頼に応じて実施）	館内	鈴木
〈概 略〉 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。		〈対 象〉 学芸員養成課程を開講している大学		
〈備 考〉 担当は窓口。				

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関	久保埜 工藤
<p>〈概 略〉 博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉 博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。</p>			<p>〈対 象〉 高齢者介護施設など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂 体験学習室	学芸員
<p>〈概 略〉 外部機関からの依頼に応じて講義を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 依頼機関への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 当館で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。</p>				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般団体</p>	
<p>〈備 考〉 担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。</p>				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				

<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>	<p>〈対 象〉</p> <p>幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校</p>
<p>〈備 考〉</p> <p>担当は窓口。</p>	

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	鈴木 佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>館蔵資料を貸し出す。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>他館等への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>博物館・研究機関・学校など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	鈴木 佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>個人や会社などへの協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>個人・博物館・学校・会社 など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>地域資料の保護と活用。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	

〈備 考〉				
2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に 応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 古美術店・古書店 など	
〈備 考〉				

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概 略〉 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉 環境保全。			〈対 象〉 館内	
〈備 考〉				
2	燻蒸	7月1日（土）～9日（日）	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜 佐々木
〈概 略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。			〈対 象〉 各種資料	
〈備 考〉 臨時休館日は7月4日（火）～7日（金）の予定。				